

国境なき医師団 (MSF) 日本

会長 小児科医

加藤 寛幸 (かとう・ひろゆき)

専門は小児救急、熱帯感染症。北海道大学中退、島根医科大学（1992年）卒業。タイ・マヒドン大学熱帯医学校において熱帯医学ディプロマ取得（2001年）。東京女子医科大学病院、国立小児病院、豪州シドニーこども病院、長野県立こども病院で小児救急、集中治療に従事。2007年より静岡県立こども病院に勤務。2014年に同病院小児救急センター長を辞職。以後、MSFの活動に専念している。

2003年より、MSFの医療援助活動に参加。主に医療崩壊地域の小児医療を担当。2010年3月～2012年3月、2014年3月～2015年3月までMSF日本副会長。2015年3月より現職。1965年11月29日生まれ。東京都出身。

2017年1月、『週刊朝日』の「2017年を元気にする100人」に選出。

MSF 活動歴：

2003～2004年	スーダン・ミゴマ（ハルツーム）：孤児院での小児科医療
2005年	インドネシア・アロール島：感染症の緊急予防接種
2005年	パキスタン・バグ：パキスタン北部地震緊急援助
2011年	日本・宮城県：東日大震災緊急援助
2014年	南スーダン・アウェイル：新生児を含む小児科医療など
2014年	シエラレオネ・カイラフン：エボラ出血熱対策
2015年	アフガニスタン：新生児を含む小児科医療
2016年	日本・熊本県：熊本地震緊急援助
2017年	バングラデシュ・マイナーゴナ：ロヒンギャ難民援助